

建築・都市



キーワード：住宅、都市、建築、

住宅研究から広がる知見を建築や街に対する設計活動で実践

理工学部 建築学科 講師

白須 寛規 SHIRASU Hironori

研究の内容

本研究室では、住宅の部分の研究（補足的空間、キッチンなど）を進めると同時に、それらの実践として自身が代表を務める設計事務所（design SU）にて建築の設計を行っています。

研究01: 補足的商空間

現代住宅における縁側やアルコーブなど、室未満の小さな空間がもたらす連続性について研究をしています。

研究02: キッチン

現代の建築家の設計する住宅のキッチン进行研究しています。商品としての分類にとらわれない、生活に密着したキッチンのあり方を明らかにしています(図1)。

実践01:『並びの住宅』(2019)

私が設計した『並びの住宅』では、小さな空間(ベランダ、物干しスペース)などがあることで、その奥の空間(居室や外部空間)との連続性が示しています。また、この2つの住宅における2つのキッチンは「アイランド+I型キッチン」という共通した形式でありながら、それぞれの住まい方に対応した構成にしています。T邸では実質的なエントランスを入ってすぐの場所で出迎えるような配置になっているのに対し、O邸(図2)ではプライベート性の高い奥に位置し、ダイニングテーブルと一体となっていてキッチンの類型に縛られない多様なあり方を展開しています。

実践02:『3×12』(2022)

同じく私が設計した『3×12』では、補足的な土間空間と板間空間を並べて1:2となるように構成しました。明確な室名をつけず、竣工後の使い方を施主に委ねるような作り方をしています。土間空間は生活の変化に対応していく余白の空間として設けられており、施主の考えを反映して竣工後に個室や低い板間、畳の空間へと変化していきました。(図3)

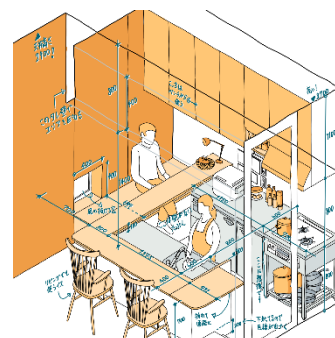


図1 「ミニハウス」(設計:アトリエ・ワン)のキッチンの研究



図2 「並びの住宅 O邸」(設計: design SU)のキッチン



図3 「3×12」(設計: design SU)の土間玄関

産学連携・社会連携へのアピールポイント

空間設計

- ・ 住宅、商業空間、など提案、設計
- ・ 建物のネットワークからまちづくりの提案
- ・ 小スペースのデザイン、活用方法の提案

記述/分析

- ・ イラストで空間を記述し分析
- ・ 室内のレイアウトを行うキッドの開発/提案
- ・ 図面を3Dに起こして空間を把握できるようにする

研究室名（建築設計研究室）

URL : http://gyoseki.setsunan.ac.jp/html/200000242_ja.html

